

# LB 会報



2023年12月 No.28 一般社団法人東大LB会機関紙

編集者：井田淳、和田康太郎 協力：（現役）長谷川希一、川端美穂

## 東京シニアリーグ参戦 10 周年！ — LB 御殿下、勝利と絆を求めて

S47 卒 戸井正明氏特別寄稿



2012年CWL参加初年度の第4戦の集合写真

2012年6月23日、於：大井第二球場、四十雀に5対0の勝利

後列左から 笠原・小野田・清木・薮内・八林（故人）・小柳・小西・岡田・武田・黒沢

前列左から 香山・田名・俵・坂井・上妻・戸井

当年度登録 32 名のうち、上記の写真に入っていないメンバー

熊沢・八田・北川・鍋島・松岡・佐藤・桜井・手島・宮路・赤松・内田・乾・天野・山辺・堀井・南谷（敬称略）

\*CWLとは東京都シニアサッカー連盟主催の over 60 リーグ（クラウンリーグ）。LB 御殿下の参加は 2012 年なので

正確には今年 12 年目。戸井さんよりいただいた寄稿は P14 ご参照

## ◆◆現役の活動報告◆◆

## 1. 男子部 2023年シーズン戦績

2023年度 関東大学サッカーリーグ戦 東京・神奈川 1部 (最終)

| 順位 | チーム名          | 勝点        | 試合数       | 勝        | 分        | 負        | 得失点      | 得点        |
|----|---------------|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 1  | 朝鮮大学校         | 52        | 22        | 16       | 4        | 2        | 32       | 48        |
| 2  | 帝京大学          | 50        | 22        | 16       | 2        | 4        | 27       | 46        |
| 3  | 大東文化大学        | 42        | 22        | 12       | 6        | 4        | 19       | 34        |
| 4  | 成蹊大学          | 39        | 22        | 12       | 3        | 7        | 13       | 35        |
| 5  | 学習院大学         | 35        | 22        | 10       | 5        | 7        | 4        | 35        |
| 6  | 上智大学          | 32        | 22        | 9        | 5        | 8        | 5        | 30        |
| 7  | <b>東京大学</b>   | <b>32</b> | <b>22</b> | <b>8</b> | <b>8</b> | <b>6</b> | <b>5</b> | <b>26</b> |
| 8  | 玉川大学          | 23        | 22        | 7        | 2        | 13       | -8       | 28        |
| 9  | 武蔵大学          | 21        | 22        | 6        | 3        | 13       | -13      | 24        |
| 10 | 横浜国立大学 (神奈川県) | 19        | 22        | 4        | 7        | 11       | -14      | 24        |
| 11 | 成城大学          | 18        | 22        | 4        | 6        | 12       | -20      | 28        |
| 12 | 東京理科大学        | 6         | 22        | 1        | 3        | 18       | -50      | 13        |

## 2. 男子部 2023 シーズン

振り返り

男子部主将 八代快 (4年・法)

LB会の皆さま、平素より多大なご支援をいただき本当にありがとうございます。現地での声援、LIVE配信を通じての応援など、皆さまのおかげで今シーズンも戦い切ることができました。今後とも変わらぬご支援、ご声援の程よろしくお願い致します。

長年の悲願である関東昇格を目標に東京都・神奈川県リーグ1部を戦った今期は、8勝8分6敗で12チーム中7位という結果になりました。後期リーグは



2023/7/9(日)対横浜国大戦、劇的決勝弾を決めた20番佐々木(3年、右から2人目)に駆け寄る5番八代@御殿下

6勝2分3敗と健闘したものの、前期リーグで勝ち点を取りこぼしたこともあり、参入戦への出場は叶わず中位でシーズンを終えることとなり、残念に思っています。しかし林監督体制3年目ということもあり、シーズンを進める中で、「1部で勝てるチーム」になっていった感覚もありました。後期は多くの勝利を掴むことができ、都1部の舞台で勝てたという経験は今後関東昇格を目指す中での礎となるだろうと思っています。来期、私たちの代はいませんが、今期攻撃の中心を担っていた選手たちが残ることもあり更なる躍進が期待できます。関東昇格に向けて戦う今後の現役への応援を、引き続きよろしくお願いいたします。

## 《双青戦（京大戦）》

今大会の双青戦は8/12,8/13 御殿下にて600人を超える観客に囲まれて開催されました。「双青戦を通じてサッカー関係者をつなぐ」というコンセプトの下、外部との交流を積極的に行いました。GSSを通じたエスコートキッズの募集、小学生大会やサークル大会の運営、中高生向けに勉強相談会、3社と双青戦スポンサー締結、地域のキッチンカー出店などを行いました。大会当日は猛暑と予想されたので、大塚製薬さんとの協賛により熱中症予防の周知に始まり、熱中症対策ブースを設置し急病人発生時の対応体制を整えました。LB会のご尽力のおかげでア式女子部創立10周年を記念し女子部も試合を開催できました。また双青戦の認知度を向上させるべく、今大会は特に広報に力点をおきました。駅前広告、DAZN様による取材協力、国際審判員を務めた家本様や、DAZN様でも解説されている細江様を招聘しました。伝統ある双青戦を両部のファン獲得につながる大会にしようと考えています。今後も部内からのアイデアやOBの方々の意見などを汲み上げながら、魅力的な大会の持続可能な運営を実現できるよう尽力してまいりますので、ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。(執筆：石川大貴 3年・農)



2023/8/13(日)双青戦 二日目の一軍戦後に記念撮影を行う両校@御殿下

## 3. ア式監督3年間を振り返って 男子部前監督 林陵平

日頃よりLB会の皆様に心強いご支援を賜りまして、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今シーズンは上記の成績で終わりました。そして、今シーズン限りで3年間務めさせて頂いたア式蹴球部の監督を退任する事となりました。この3シーズンを振り返ると、1年目は1部リーグの壁に当たり、ほとんど勝利することも出来ずに非常に苦しい思いを選手やスタッフと共にしました。2年目の2部リーグでは、降格の悔しさを知った選手やスタッフたちと一緒に昇格を目指して戦い、無事に昇格することが出来ました。1部リーグへの再挑戦となった3年目の今季は、1年目の教訓を活かした、簡単には負けないソリッドなチームを作る事が出来、帝京大学といった1部の上位であるチームからも勝利をもぎ取る事が出来るようになるなど逞しいチームとなっ



2023/9/9(土) 帝京戦(1-0 勝利)終了後のハイタッチ

於：帝京大学八王子キャンパス陸上競技場

スタッフ達に心からの感謝を伝えたいです。LB 会の方々にも、様々な場面で本当に手厚いご支援とお心遣いを頂きました。大変恐縮ではございますが、この場を借りて厚く御礼申し上げます。最後になりますが、東京大学運動会ア式蹴球部の今後益々の御発展をお祈りしております。3年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

\* 編集者注：林陵平前監督は、2023/12/9(土)の第103回天皇杯決勝で、地上波テレビ生放送の解説者としてNHK初登場

## 4. 男子部オフザピッチ活動

### (1) 御殿下サッカー学校 (GSS)

昨年度から御殿下グラウンドに戻ってスクールを開催できるようになり、今年度も盛況の中活動を続けられています。現在130名以上の方にご入会いただいております。中には御殿下でサッカーの楽しさを知り地域のサッカークラブに入団したお子さんもいて、競技の入口としての役割を実感しております。また、今年度から様々な制限も撤廃されたことで、リーグ戦の応援や双青戦のエスコートキッズなど、スクール以外での交流が多く生まれた一年となりました。来年も引き続き多くの方にサッカーの楽しさを知っていただき、長く親しみやすい環境作りができるよう、部員一同精進してまいります。今後ともご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。(執筆：岡野陸)



2023/10/22(日) ドリブル競争に熱中する子供達@御殿下 G

### (2) 強化ユニット

今年度より、J2いわきFCでスプリントコーチを務める秋本真吾氏をスプリントコーチとして迎え、フィジカル面の強化に真っ向から向き合ってきました。シーズンが進むにつれて徐々に成果が出始め、終盤の好成績の原動力になったと評価しております。また、昨季まで3年間ご指導いただいた林陵平前監督に代わり、今季から新たに桑原徹氏を監督として招聘することとなりました。林陵平前監

てくれました。こうしてふと立ち止まり思い返すと、1年目からチームとして、また監督として経験してきた全ての事の一つ一つが一本の線として繋がっているように思いました。この3年間様々な事がありましたが、選手たちやスタッフだけではなく、ア式蹴球部全体に関わっている方々からの信頼とサポートを感じながら、常に勝利にこだわり3年間ピッチ内もピッチ外も指導出来ました。私自身その事を通してすごく成長する事が出来まし、ア式蹴球部のチームとしての成長に少しでも寄与出来たとしたらそれ以上に嬉しいことはありません。そして、退任の挨拶と重なってしまいましたが、今一度改めてこの3年間の中で共に歩み戦ってくれた全ての選手達、テクニカル、メディカル、フィジカル、マネージャー、チーム



強化ユニット長 川上皓大 2023/9/30(土)対成城戦にて

督によって部に根付いた「勝利への執着心」を土台として、「関東昇格」に向けて桑原新監督と共に新たなチームを創ってまいります。強化ユニットとして桑原新監督を全力でサポートしていく所存です。学生が主体となって秋本コーチや桑原新監督を招聘することができるのも、LB 会の皆様のご支援あってのことだと日々痛感しております。強化ユニット一同責任感を持って精進してまいりますので、今後ともご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。(執筆：川上皓大 2年・文二)

### (3) プロモーションユニット

今季は昨年から継続の株式会社テレシー、武蔵コーポレーション株式会社、Sky 株式会社に加え、field management、Levarages との新たな年間スポンサー契約締結に至りました。Levarages においては、先方からスポンサー契約をご提案いただく



2023/10/20(金) スポンサーであるレバレッジズ本社を訪問し  
グッズを贈呈する泉澤 輝 (2年・文一 右側)

など、弊部のスポンサー活動が徐々に周知されていることが伺えました。サプライヤー契約にも力を入れ、昨年からの協賛いただいているベースフード株式会社に加え、トレスよりユニフォームの割引をいただいたり、クロスセンシングより弊社テクニカルユニットとの連携を前提として機材の協賛をしていただきました。双青戦では、武蔵コーポレーション様に加え、株式会社 Visonal 様、アビーム様にご協賛いただき、大会の規模拡大を支えていただきました。また新たな取り組みとして既存スポンサーとの継続的な関わりにも注力いたしました。12 月にはテレシー株式会社、Leverage との合同のサッカー大会を開催予定です。さらに弊部が毎年開催している、高校生を対象としたサッカー大会、東大フェスではマナビス様に協賛いただくなど、部員の企業説明会への参加以外の、企業様への幅広いリターンを模索しているところです。

最後になりますがこうした活動を続けることができますのも LB 会の皆様の多大なるご支援のおかげでございます。来季は弁護士

の杉山さん、会計の金子さんをはじめ LB 会の方々との連携を強化していきながら、活動を続けていければと思いますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。(執筆：垣内志織 3年・教育)

### (4) テクニカルユニット

テクニカルユニットは、ピッチ外の分析を通じてチームをサポートしております。杉崎アドバイザーのご指導を賜りながら、対戦相手のスカウティング、リアルタイム分析、フィードバックのサイクルを回しつつ、チームがより良い戦い方を選択できるよう努めてまいりました。また、今年度は外部組織との提携が大きく進んだ一年でもありました。ベルギー1部シントトロイデンとの選手のスカウトに関する提携は、テクニカルとしても初めての試みであり、貴重な



経験をさせていただきました。サッカー界での先進性において注目を集めることができるようになったのは、Bepro(映像分析サービス)やxG-1(GPS デバイス)といった設備を活用できる環境にあることが大きく、導入をご支援いただいた LB 会の皆様に、深く感謝申し上げます。安定して新入生も入部し、設備・人員共にテクニカルの土台はできつつありますので、組織内部での成長環境を十分に用意した上で、より一層の発展を目指したいと考えております。東大ア式の勝利に貢献し、また日本サッカー界に大きく影響を与えられるよう、来季もより一層邁進いたす所存ですので、今後ともご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。(執筆:高橋駿平 3年・文二)

\*前ページの写真は 2023/11/8(日) 対大東戦にてリアルタイム分析を行うテクニカルユニット・豊嶋鴻平(1年・文一)@御殿下

## 5. 男子部 2024 シーズン新体制とスケジュール

### 1. 新体制

総監督 利重孝夫

新監督 桑原徹 (前職: エリース東京ヘッドコーチ)

主将 上原真路 (新4年・教養)

副将 谷晃輔 (新4年・経)

副将 吉本章 (新4年・工)

テクニカルアドバイザー 杉崎健氏(現在検討中、納会までには決定予定)

GKコーチ 三浦和真氏



長谷川希一 新主務 (新3年・教養)

### 2. シーズンスケジュール (暫定)

1月 始動合宿(1/13~14@御殿場時之栖)

3月 卒部式

3月下旬 アミノバイタルカップ都学連予選

4月 入部式

4月~7月 東京都大学サッカーリーグ1部(前期)

8月 双青戦@京都開催(京大創部100周年記念)

8月~10月 東京都大学サッカーリーグ1部(後期)

11月 東京都サッカートーナメント

12月 納会、東大サッカーフェスティバル



桑原徹 新監督

## 6. 男子部新監督就任にあたって 男子部新監督

### 桑原徹

皆様初めまして。この度ア式蹴球部(男子)の監督に就任しました桑原徹と申します。

サッカー人として生きてきた私にとって、ア式蹴球部(男子)監督に就任できることはとても誇らしくうれしく思うと共に、身が引き締まる思いです。

私は、中学生の時にスペインサッカーを通じて監督業に関心を持ち、高校卒業後単身スペインに渡り2年間、監督業、コーチ業、分析について学び、監督ライセンスも取得しました。その後、ジュビロ磐田のスペイン人監督とのご縁で

同チームの分析官を勤め、更に同氏の誘いでパラグアイプロチームでの分析官も経験し、2023年から社会人サッカー関東2部のエリース東京FCのヘッドコーチを勤めておりました。

ア式蹴球部は、選手、コーチ陣、テクニカルスタッフ、グラウンドスタッフなどが、それぞれの役割を責任感を持って勤める学生によって構成されており、素晴らしい組織であると感じました。このような組織を成長させていくことは（特にテクニカルユニットの更なる強化に組み込み）とてもやりがいがある仕事であると共に、多くの困難が待ち構えていると認識しています。これまで多くの関係者が人生をかけて現在まで築いてきた、100年以上の伝統を持つア式蹴球部の歴史に恥じぬよう精一杯努力して参る所存です。どうぞよろしくお願い致します。

## 7. 男子部 2024 新主将挨拶 新主将 上原真路（新4年・教育）

2023年度シーズン、林陵平監督体制3年目のチームは円熟味を増し、「関東昇格」という目標には及ばなかったものの、1部で昇格プレーオフ圏内まで残り勝ち点10に迫る7位という成績を残すなど、ピッチ内では飛躍の年になったのではないのでしょうか。1部の強豪相手にも、ボールを保持するア式のスタイルを貫き、勝ち点を奪えたことは大きな自信となりました。

10月、チームを支えてきた林陵平監督と4年生がチームを離れ、岡本暫定監督(2023年シーズンAチーム学生ヘッドコーチ。林監督退任後、新監督就任まで暫定監督を務めた)のもとに新チームをスタートさせました。そして部員皆のミーティングで、今季成しえなかった「関東昇格」、さらに目下の「東京カップ制覇」をチームの目標として定めることを決めました。迎えた東京カップでは、1回戦に電気通信大学を8-0、2回戦に成城大学を6-1で破るなど、勢いに乗りましたが、準々決勝で帝京大学に0-2と力負けを喫しました。この結果を真摯に受け止め、来シーズンに繋げなければなりません。引退した4年生が残してくれた練習の雰囲気の良いさを継続させられていること、岡本監督の下で、大きな積み上げができたことはポジティブな収穫です。一方で、個々人の守備力不足やチームとしての層の薄さは来シーズンに向けた不安材料であり、改善が必要な点です。このチームは、来季関東昇格を達成するために、努力し続けられるエネルギーを持っていると信じています。LB会の皆さま、ぜひ来季のア式に期待し、応援していただけると幸いです。



上原真路 新主将

## 8. 女子部 2023 年度戦績

女子部関連の寄稿とりまとめ：女子部主務 川端美穂（3年・教育）

2023年度関東大学女子サッカーCiEリーグ

最終順位：6位／6チーム（1勝4敗）

9/24 vs 茨城大学 ●(0-7)

10/8 vs 東京学芸大学 ●(0-5)

10/29 vs 国際基督教大学 ○(3-1)

11/5 vs 東京理科大学 ●(1-2)

11/12 vs 東京外国語大学 ●(0-2)



女子部主務 川端美穂

## 9. 女子部 2023 年度シーズン振り返り

主将 森本帆南（3年・教育 左写真）



今シーズンも女子部に多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

今年度、女子部では4人の新入生を迎え、10人の部員で活動してまいりました。公式戦の関東大学女子サッカーリーグ CiE リーグでは、8人制や10人制の試合が主となりました。また、合同練習をしている文京LBレディースの選手にお力添えをいただき、部員数の少ない中でしたが全5試合を戦うことができました。

結果は1勝4敗と苦しいシーズンとなりましたが、リーグ期間を通して1年生がめきめきと力をつけたことや、大田コーチ、張コーチ、島田コーチを中心とした新しい指導体制の中でチームがまとまってきたことなど、来年以降の飛躍につながる準備ができたのではないかと思います。なかなか勝ちを得られないもどかしい状況の中でしたが、

温かい応援や激励を送っていただきありがとうございました。

また、8月には女子サッカーでは史上初となる女子部の京大戦を開催いたしました。結果は1-1と引き分けとなりましたが、両チームが見せ場を作り、大いに盛り上がりました。この試合のために結成された京大有志チームは現在も活動を続けており、新たな参加者も増えているようで、女子サッカーの輪が広がっていることがとても嬉しく思います。

改めまして、女子部京大戦の開催に向けてご支援ご協力いただきましたLB会や男子部の皆様に心より感謝申し上げます。

来季は今年度築いた礎を基に、チームとして一層成長できるよう活動に励んでまいります。今後ともご支援のほど何卒よろしく願います。

## 10. 2023 年オフザピッチ活動

### (1) 双青戦（京大戦）

8/12(土)農学部グラウンドにて女子部としては初めての東大京大戦を実施しました。女子サッカー部のない京都大学にチームを作るところから始まった史上初の東大京大戦でしたが、結果として京都大学女子学生有志チームに20名の選手が集まりました。試合は1-1の引き分けで終わりました。開催にあたってご協力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。



東大京大集合写真

### (2) なでしこフェスティバル

毎年開催している高校生を対象としたサッカー大会、なでしこフェスティバル 2023 を双青戦期間に開催しました。今回のなでしこフェスティバルは京都大学女子学生有志チームの皆様と筑波大学女子サッカー部有志の皆様にご協力いただき、大学生チーム対高校生チームの交流試合や進路相談会を実施しました。約30名の高校生が応募してくださり、大学生にとっても高校生にとっても貴重な交流の機会となりました。来年度も引き続き高校生との交流の場を設け、長期的目線での新歓活動を行ってまいります。

### (3) 10周年記念事業

2023年度で女子部は創部10年目を迎えました。10周年を記念し、今まで活動にご支援くださった皆様への感謝の場を設けるとともに新たなサポーター確保と地域貢献に向けた取り組みを実施しました。

### ① LB会報女子部10周年特集掲載

日頃よりご支援いただいているLB会の皆様にア式蹴球部女子のことを知っていただく機会としてLB会報に女子部10周年特集を組んでいただきました。

### ② 資金集め

双青戦や女子サッカー教室など10周年を記念して様々な活動をする中で必要となる資金は応援して下さる方々の寄付で集めました。具体的には一口5000円の応援サポーター費、企業様からのご寄付、チラシへの広告掲載費、試合でのグッズ販売です。資金の大半は応援サポーター費であり、約60名の応援サポーターの方が寄付してくださいました。これら寄付金は双青戦開催に向けた京大女子学生有志チームの遠征費や女子サッカー教室の記念品、各種イベントのチラシなどに使わせていただきました。合計854,800円集まった資金の内訳は以下の通りです。

内訳：サポーター費：555,000円（一口5000円）、寄付：270,000円、広告掲載費：10,000円、グッズ売上：19,800円

### ③ 女子サッカー教室

8/26（土）に御殿下グラウンドにて地域の女性、児童から大人まで幅広い年代を対象に女子サッカー教室を開催しました。開催にあたって、週二日、ともに活動している文京LBレディースの皆さんにご協力いただきました。当日は60名以上の方にご参加いただきました。小学生以下の部では親子でのアクティビティやミニゲームなどを通じてサッカーと出会い、サッカーを楽しんでいただける企画を準備しました。中学生以上の部では経験のある参加者が集まり、参加者と選手全員でゲーム大会を実施し、白熱した試合が繰り広げられました。

さらに元なでしこリーガーの方が文京区で営むキッチンカーFood Truck Tsukumiさんにも出店していただきました。女子サッカー教室開催にあたり、多くの地域企業様やお店の方々にチラシの掲載や参加の呼びかけのご協力をいただき、地域の方々とつながりを形成するイベントとなりました。

### ④ 10周年 Anniversary Match

ア式蹴球部女子を支えて下さる方々に試合観戦を楽しんでもらい、日頃の感謝を伝えることを目的にリーグ戦最終節を集中観客試合としました。試合は御殿下で開催し、女子部としては初めて応援部にもご協力いただきました。悔しい敗戦となりましたが、LB会や男子部の皆様をはじめとした多くの方が応援に駆けつけてくださり、今年の「応援されるチームになる」という目標に近づくことができたと実感しました。



10周年記念事業ピラ配布の様子（御菓子処 扇屋）



8月26日女子サッカー教室 小学生の部 @御殿下グラウンド

## 11. 2024 年新体制

総監督：福田雅 監督：未定 アドバイザー：大里真理子  
 主将：森本帆南（新4年・教育） 主務：川端美穂（新4年・教育）



森本帆南 新主将

## 12. 2024 年主将挨拶 新4年主将、森本帆南

LB会の皆様、いつもア式女子の活動にご支援ご協力いただき誠にありがとうございます。現在2年生の部員がいないため、例外的ではありますが、昨年度に引き続いて来季途中まで主将を務めさせていただきます。

今年度はCiEリーグ全体のレベルの上昇を強く感じ、リーグ5戦中1勝4敗と思うような結果を残すことができませんでした。さらに、主戦力としてチームを牽引してきた4年生の引退もあり、来シーズンに向けてこのままではいけないという焦りや不安が胸の中に渦巻いています。一方で、1年生の目を見張るような成長や指導体制の充実化など、期待もまた十分にあります。日々の活動を支えていただいている全ての方々に感謝しながら、真剣に楽しくサッカーに取り組む先にある勝利を目指して、来シーズンも全力を尽くして頑張っていく所存です。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

## 13. 2024 年スケジュール

- 3月 つばフェスティバル@筑波大学
- 6月 春季 CiE リーグ
- 8月 合宿、双青戦（京大戦）@京都開催（京大創部 100 周年記念）
- 8月～12月 東京都リーグ（文京 LB レディースのメンバーとして参加）
- 9月～11月 関東大学女子サッカーCiE リーグ戦
- 1月 国公立大会

### ◆◆LB会の活動状況報告◆◆

コロナの影響下にあった昨年までにくらべると、少しずつ日常が戻りつつある中、今年3月18日の社員総会で承認された事業計画・予算に基づき事業を進めております。

## 1. 2023 年度 事業報告（中間報告） 和田事務局長

- ① 現役サポートにおいては、林監督、杉崎テクニカルアドバイザー、三浦 GK コーチの継続招聘に加え、秋本スプリントコーチの新規招聘による走力アップとフィジカル強化の支援、若手 LB(学生コーチ)の練習指導、スポンサー獲得活動やテクニカルユニットの機材購入の支援などを今年も継続的に行なった。男子部は3年ぶりの合宿を1月14日～15日に検見川始動合宿として行い、LB 会もミーティングに参加した。現役部員は検見川に来るのも全員初めてであった。京大戦（双青戦）は2018年以来5年ぶりの東京開催、ア式女子部創立10周年を記念し、女子部の試合も初めて開催することができた。12月16日には現役との合同納会（於：本郷 第二食堂）を開催する。
- ② 昨年度から御殿下グラウンドに戻った御殿下サッカースクールも盛況の中活動を継続した。
- ③ 年齢別サッカー活動では、若手は2チームに分かれて、東京都社会人サッカーリーグに参加、シニアは東京都シニアサッカー連盟の年代別リーグ戦（O-60,65,70,75）に参加した。さらに今年から正式リーグとなったO-80のSFL80リーグに

も希望者が参加している。コロナ禍で多くが中止されてきたシニアの交流戦は、徐々にではあるが、再開されてきた。

10月21日には東大ホームカミングデーでのLBシニアのゲームを4年ぶりで開催した。対戦相手として招待した藤枝FCは9年ぶり4回目の来訪で、御殿下グラウンドでゲームを、そのあと山上会館で懇親会を行った。

- ④ 情報発信ではLB会報の年2回発行とLB会ホームページの随時更新を行った。現役男子部リーグ戦のYouTubeライブ配信を今年も行い、部員の実況解説付きで分かりやすく、試合ごとにLB会員に周知し、多くのLB会員がLive応援をした。現役の活動がテレビや新聞、雑誌に数回取り上げられ、LB会も情報提供協力と、LB会員への周知を行った。

## 2. 2023年度 LB 戦績

### 1. 若手LB活動 H27卒 松田裕生

#### (1) 東大LB (東京都社会人リーグ2部)

14位/16チーム 3勝3分9敗 勝ち点12  
最終節負けてしまったため、降格が決まってしまう。結果的に、格下相手に勝ち点を取りこぼしたことと一部の試合で大量失点してしまったことが響いた状況です。

しかしながら、シーズン勝ち点12は過去4年間の2部での戦いにおける最多勝ち点であり、東大LBが十分に2部リーグで戦えることは示せた1年間だったと思います。

また、内田や久野を中心にピッチ内外でエネルギーに活動してくれる若いメンバーが台頭してくれたので、さらなるパワーアップをしたうえで2部への復帰を果たしたいと思います。

#### (2) 東大LB Second (東京都社会人リーグ4部)

5位/10チーム 6勝3敗 勝ち点18

上位争いでの敗戦が続いた結果、今年度は5位で終了しました。若い上位チーム相手に勝ち切るために走力・得点力を伸ばすことが次年度以降の課題です。しかしながら、優勝チームに勝利するなど、東大LB Secondが4部リーグで優勝争いできることは示せた1年間だったと思います。

また、山岐や平野周を中心にピッチ内外でエネルギーに活動してくれる若いメンバーが台頭してくれたので、さらなるパワーアップをしたうえで3部への昇格を果たしたいと思います。

### 2. LBシニア公式戦

#### (1) O-60, O-65の活動 S53卒 井田 淳

##### O-60の活動

昨年CWL3部から昇格し、今年はCWL 2Bで戦いました。序盤はリーグ2位となった強豪FC町田に勝利し、次の節も連勝するなど好調でしたが、その後惜しい試合を落とし、最終的には、2勝5敗1分、得点8失点14、勝点7で、9チーム中7位となり、3部との入れ替え戦を戦うことになりました。2部の壁に跳ね返されたということではなく、ほんの少しの粘りが足りなかった感じの1年でした。なお、12月2日の3部との入れ替え戦 (vs 西東京市民FC) に辛くも引き分け(2-2)、2部残留を決めました。



10月9日(月) 東大LB Second vs FC与論 Tokyoにて  
山本健 (H31卒) 右、荒井 (H29卒) 左、GK 今泉 (H26卒)

### O-65 の活動

今年はCWL O-65 2部のBで戦っており、8試合消化時点で、4勝3敗1分、得点14失点10、勝点13で10チーム中3位につけております。今年はメンバーの体調不良やその他の理由でなかなかフルメンバーで戦えていませんが、チームワークと得点源FW岡田（和）選手の活躍で現在のポジションを維持しております。



9月29日対Curiosityとの試合後の集合写真

### **(2) O-70 の活動 S47 卒 宮路**

CWL O-70リーグは、18チームが参加し、AとB9チームずつの2グループに分かれてリーグ戦を行い、その後両グループの同順位同士が対戦し、全体18チームの順位を決めることになっています。LBクラブは、Bグループに所属し、11月前半までに5試合を終え、全勝、勝ち点15でBグループの首位にあります。残り3試合は、最終戦に強敵墨東70（4勝1分け勝ち点13で現在2位）との対戦が組まれており、両チームがその前の2試合を勝ち抜いていれば、グループの首位決定戦となります。全勝し首位になれば最高です。

### **(3) O-75、O-80 の活動 S40 卒 樋口周嘉**

#### LBクラブ75の活動

今年度の東京都シニアサッカーリーグの75歳以上のカテゴリ「SFL75リーグ」は、昨年度の8チーム2回総当たりから、1チーム増えたことにより、9チーム1回総当たりのリーグ戦となり、4月10日から12月11日の予定で行われています。

LBクラブ75は11月迄に7試合を終え、2勝2敗3引分勝ち点9で6位となっています。12月11日の最終戦で5位のチームと対戦します。3点差以上で勝てば逆転できるのですが、これまでの試合での得点実績からすると厳しいものがあります。リーグ戦を終えた後、年明けにはカップ戦が行われる予定となっています。

#### O-80 のリーグ戦の活動

昨年度の試行期間を経て、正式なリーグとなったSFL80リーグは、参加希望者をO-75迄の所属チームには無関係に分けて3チームを構成し、毎回巴戦を行う形でのリーグ戦が4月から来年2月までの予定で行われています。特筆すべきことは、「80歳以上でサッカーのリーグ戦を行っている」と言う事が世界的な注目を集め、毎回国内外の報道機関の取材があることです。

### **3. シニア (O-50) 交流戦の活動(2023年6月以降) (S58 卒 中谷知弘)**

- ・6/29 2023 東京シニアサッカー大会（第3節第1グループ） O-65 中心 駒沢補助球技場
- ・7/15 2023 東京シニアサッカー大会（第4節第4グループ） O-60 中心 駒沢第2球技場
- ・7/29 交流試合（武蔵野FC60、LB55卒中心のチーム） 東大農学部グラウンド
- ・8/12 京大戦（OB前哨戦） 東大農学部グラウンド
- ・8/13 京大戦（OB戦） 東大御殿下グラウンド
- ・9/7～8 藤枝草サッカー大会（O-70） 藤枝総合運動公園
- ・10/7 第一生命OBとの練習試合 第一生命グラウンド
- ・10/14～15 第30回 スーパーエイジサッカー大会 in 刈谷 刈谷市港町グラウンド&刈谷市総合運動公園
- ・10/21 東大ホームカミングデイ交流戦（4年ぶり開催） 藤枝FCを9年ぶりで招待 東大御殿下グラウンド
- ・10/29 防衛大OB、北大OBとの交流戦 防衛大学校グラウンド

- ・11/3 早大OB、慶大OBとの交流戦 東大検見川グラウンド
- ・11/18 金丸杯（藤枝FCとの交流戦） 藤枝市民グラウンド

\* 右の写真は、10月21日（土）ホームカミングデーでの一コマ。  
試合及び懇親会の後、藤枝FCメンバーをバスまで見送る東大LB。  
藤枝FC 村越会長と東大LB S47 卒 上妻達也ががっちり握手。



第一生命との交流試合。O-60,O-70 合同チーム集合写真。第一生命の天然芝の素晴らしいグラウンドでサッカーができるので、毎年多くのメンバーが集まる。記録はないが、この交流試合も長く続いている。山中選手（S50 卒）（中央白シャツ）を中心として第一生命の守りは固かった。

### 3. トピック

#### (1) 「東京シニアリーグ参戦 10 周年」 S47 卒戸井正明 表紙の写真ご参照

2012 年春 GSFC が開設 5 年目の都リーグ (O-60CWL) に参戦した。10 年たち、15 チームのリーグが CWL-060,-065SFL-070-075-080 計 5 Category 120 チームとなった。LB は今や全 Category 参加の唯一の単一大学 OB チームとなり、リーグで大きな存在となっている。

《発端》 2010 年秋 3 大学 OB 戦後の居酒屋。青春の熱情抜けきらぬ 60 代有志間で構想浮上。2012 年 CWL 参戦をめざそうと走り出した。

《課題》 第一の課題は志願数。募集結果は、S39 卒熊沢・八田両氏筆頭に元気でサッカー好きの 32 名が集結。それは、チーム編成に十分であった。第二の課題は、『年間固定登録リーグへの不参加』として単発大会や親善試合に限っていた LB 会了承だ。友好と真剣勝負の両立をめざし LB 会幹部と膝を突合わせ議論した。参加の条件は、登録人数を制限せず、出場時間に差はあっても、全員出場の原則を貫く事とか、選手は与えられた時間/役割内で最大尽力し、仲間への思いやりを忘れないこと等だった。

《参戦決定》 2011 年 8 月 32 名の情熱が LB 理事会の承認を後押。名は GSFC (御殿下 Senior Football Club)、LB のリーグ参加に舵をきった歴史的な瞬間だった。即、ロゴ入シャツ、出欠アプリ、口座開設、役割決定 (初代代表八田氏・監督上妻氏・運営責任戸井等)、協会登録等急ピッチで準備を進めた。監督自作の【5 分刻みの全員参加の交代布陣表】が戦略と友好両立の強カツールとなった。準備は整った。

《2012 年初年度》 3 勝 3 分 3 敗で 15 中 11 位、翌年 2 部(CWL-2)格付となる。参加 6 チームの北区大会で 2 勝 1 分で優勝、曙光が見えた。

《2013 年 2 年目》 初年度の苦戦を糧に大躍進。

CWL-2 準優勝 5 勝 1 分 1 敗/8(T=team)中 CWL-1 へ。

春季大会 優勝 3 勝 1 分/15(T)、決勝対 Lazos に PK 勝 → 第 1 回藤枝草サッカー大会東京代表に。

藤枝大会 優勝 3 勝 1 分/17(T)茅ヶ崎破り初代チャンピオンとなる。

有志の構想が開き、歴代監督の戦略/配慮そして勝利と絆を求める全員の熱情が現在まで続いている。生涯サッカーを楽しめる事に感謝し擱筆する。

#### (2) 「浅見先生の卒寿をお祝いする会」を開催 S50 卒吉澤伸明



2023 年 10 月 3 日 (浅見先生の 90 歳の誕生日) に学士会館に、LB 長老の折原、畔柳、小山さんはじめ、安達、宇尾、樋口さん、また先生が監督として指導した昭和 44 年卒から 51 年卒の皆さん、LB 会の幹部など、総勢で 60 名が参集しました。

卒業以来 50 年以上が経ち、まさに浅見先生を囲む、教え子たちの大きな同窓会の雰囲気でした。

武田理事長の挨拶、最長老の折原さんのお祝いの言葉、小山さんの乾杯で始まり、卒業以来の方々もいて、久しぶりの会話にあちこちで花が咲きました。

←スピーチをされる浅見先生

各年代別の写真撮影の後に、最後に先生から「俺はあと 10 年は生きるぞ。ここにいる皆は俺より先にいくなよ」宣言まで出て、終始なごやかな、楽しい会となりました。参加いただいた皆さんありがとうございました。

### (3) 「FC 今治高等学校里山校について」 武田理事長

前号で紹介した通り、J3 の FC 今治（矢野将文社長・H10 卒 LB）は、地元の今治明德学園と連携する形で 2024 年 4 月に FC 今治高等学校・里山校を開校する予定である。そこで初代校長に就任する予定の辻正太氏（H17 卒 LB）を訪ねてその準備状況をヒアリングした。

2023 年 8～9 月に行なったオープンキャンパス説明会を経て、12 月にははいよいよ入試を予定している。入学枠は 80 名であるが、実際に何名の受験生が応募するか。辻氏はこれまでの父兄・生徒たちとの交流を踏まえて、それなりの手応えを感じているようである。この里山校が順調に運営されて、開校の理念通り、次世代を担う人材（財）を輩出することを願うものである。

\* 編集者注：上記 2 名の他にも、FC 今治のトップチームスポーツダイレクターに H20 卒 碓 知也氏が就任するなど、ア式 OB が本校や FC 今治の運営に深く関与しています。

H17 卒 辻正太氏、右は武田理事長→



### (4) 「金丸杯開催」 S47 卒 手島直幸

#### 全国レベルの戦い

快晴の 11 月 18 日、JR で決戦場に向かう。藤枝駅の改札口を出ると蹴球都市藤枝の巨大ディスプレイに出会う。「サッカーのメッカ！」とメツシが言ったとか。サッカーがマイナースポーツの時代、サッカーが盛んな所(メッカ)は浦和、刈谷、広島、神戸、そして藤枝だった。藤枝 FC は東大 LB と同様有名ブランドチームだ。藤枝東高校といえば帝京高校と並んで全国的に



試合前の集合写真（藤枝市民グラウンド） 前列中央が金丸夫人

知られていた。その藤枝東 OB が 2005 年に分離独立したあと藤枝 FC は藤枝市の代表的 FC として発展して、いまや日本シニアサッカーの雄である。藤枝 FC と東大 LB の交流は 2005 年に始まった。コロナ中断あったが 18 回になる。毎年懇親会で村越会長から年代カテゴリーの全国大会で優勝が準優勝との話を聞かされている。(うらやましい)相手として不足ない。

**試合実況**会場は藤枝市民グラウンド、天然芝、スタンド付きだ。ライトブルー対藤色、観客からはやや見にくい、伝統を重んじる両チーム、ゆづらない。開会式で記念撮影した。両チーム開戦前の写真姿、笑顔が溢れている。全国各地から駆けつけた LB 精鋭は総勢 28 名。10 月ホームカミング日にバスで 30 人來られた藤枝 FC には及ばない参加者数だが、東大第二黄金期の団塊世代(清木、櫻井、上妻、黒澤、赤松、俵、戸井、手島、宮路)が揃った。金丸もこの世代だ。ちなみに第一黄金期は昭和初期大学リーグ 6 連覇。団塊世代が生まれた頃(昭和 23 年)流行ったブギウギのリズムに記憶が甦る。NHK 朝ドラ「ブギウギ」でラインダン

スの USK のモットー"強く、逞しく、泥臭く、艶やかに"をそのままに LB の掛け声にする。金丸夫人の始球式で始まり、年齢別の対抗戦が繰り広げられる。試合の結果は O70、O60 とともに完敗だった。

### 東大 LB と藤枝 FC の歴史

ちょっと昔の話をする。昔は LB は全国レベルの実績を誇っていた。LB は東大ア式の OB チームで戦後初めての天皇杯サッカーで優勝している(昭和 21 年)そして昭和 24 年も。我々 LB と藤枝を結ぶ糸は昭和 33 年天皇杯サッカー大会である。東大 LB は現役学生(安達良英、小山富士夫ら)と若手 OB(岡野俊一郎、浅見俊雄ら)の"全東大"だった。決勝トーナメント 3 位決定戦で地元志太クラブを破った。この時のエピソードを(会場は、藤枝東高校グラウンドだった、宿舍が街道の女郎屋だった"とくまん"で試合前にアリナミンを栄養補給に注射したとか)、小山富士夫(S35)先輩からさんざん聞かされた。(東大ア式 90 年史参照)

21 年前(2002 年)に金丸仁(S46)が藤枝市立総合病院の院長に就任してから、糸は太い綱になり藤枝 FC と東大 LB の定期戦が行われるようになった。

### ジュールリメ杯と金丸杯

今は FIFA ワールドカップと言われるが、昔は初代会長のジュールリメが寄贈したトロフィーを争奪する戦いだった。1970 年ブラジルが 3 回目の優勝を果たしたあとは永久保持となり、つぎの大会からいまの W 杯になった。2015 年金丸は白血病になり翌年逝去した。

金丸は闘病中、藤枝 FC-東大 LB 交流を記念して優勝カップを寄贈してくれた。私と金丸の頭の中には、ジュールリメの故事があった。この対抗戦が全国最高のシニアサッカー大会になるというビジョンだ。カップ台座には"蹴った、勝った、飲むぞ"と銘がある。以来、優勝した者がこのカップでビールを回し飲みすることを皆楽しみにしている。今年はどうだったか。まあ懇親会は無礼講で勝敗棚上げで両チームメンバーが回し飲みするのが恒例だ。



今回の試合後の懇親会 (於：山内屋)

## 4. 訃報連絡

・S29 卒 川辺正行 逝去日：2018.11.30 (2023.8 末に、次女様よりご通知いただきました)

## 5. 2022 年度 LB 会費納入実績と 2023 年度中間報告 → 別ページ 会費納入者一覧表

### 会費納入キャンペーン

2022 年度の会費納入は 341 人、4,776 千円となり、対前年 +22 人、+337 千円と順調に増収してきております。2023 年も、11 月 24 日時点での一斉口座振替分と銀行振込分と合わせ、327 人、4,508 千円の入金を確認しております。ご協力誠に有難うございます。代議員の皆様のご協力をいただき、LB 会費納入キャンペーンを行っています。ア式現役の強化のため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。未納入の方、便利な口座振替に変更されたい方、会費金額を変更されたい方は、会費担当：井田 淳 (昭 53 卒) にご連絡下さい (この下の「LB 会費の納入方法」ご参照)。

### LB 会費の納入方法

#### 1. 口座振替

原則口座振替をお願いしております。口座振替登録いただきますと、毎年 6 月末に引落がかかります。手続きに必要な書類は、口座振替依頼書(口座登録印押印のもの)と、振替金額指示書です。会費担当の井田まで連絡いただければ、一式送付致します (連絡先は以下の通り)。

## 2. 銀行送金をご希望の方

銀行送金を希望される方は、下記のいずれかの LB 口座に送金下さい（いずれも口座名義は、一般社団法人 東大 LB 会）。送金時期の決まりはありませんが、年 1 回の送金ですので、お忘れなきようお願いいたします。

- ・三菱 UFJ 銀行 日本橋支店（020）普通預金 5125311
- ・みずほ銀行 日本橋支店（038）普通預金 2213920
- ・ゆうちょ銀行 口座記号 00220-7、口座番号 80441

## 3. 年会費

4 口、12,000 円でお願していた時期もございますが、現在は、5 口 15,000 円でお願します。

（院生など社会人になっていない卒業生は 1 口、3,000 円です）

**会費担当の連絡先**：井田 淳（いだ じゅん、昭 53 卒）

住所：〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘 5-23-15 携帯電話：080-1149-4532

メール：PC の場合：[motoko1713@mtd.biglobe.ne.jp](mailto:motoko1713@mtd.biglobe.ne.jp) 携帯の場合：[junida.may@docomo.ne.jp](mailto:junida.may@docomo.ne.jp)

## 6. LB 会 2024 年 年間スケジュール 和田事務局長

### 2023 年下期

7 月上旬 LB 会報 No.27 号発行

8 月 12 日(土)、13 日(日) 京大戦（双青戦） @東大御殿下 G

8 月 19 日(土) 10 時～12 時 LB 理事会 @部室 2 階大会議室+W E B 併用 ハイブリッド開催

9 月 24 日(日)～11 月 12 日(日) 現役女子部 C i E リーグ戦

10 月 21 日(土) 東大ホームカミングデー vs 藤枝 FC （コロナ禍以前以来、4 年ぶりで実戦を開催した@御殿下 G）

10 月 8 日(日) 現役男子部のリーグ戦終了

11 月 3 日(祝日・金) 東早慶 3 大学 OB 対抗戦 @検見川

11 月 12 日(日) 現役女子部 C i E リーグ最終戦（女子部創部 10 周年記念試合として集中観客試合に@東大 G）

11 月 18 日(土) 金丸杯 藤枝 FC との交流戦 第 18 回 @藤枝市民 G

12 月中旬 LB 会報 No.28 号発行

12 月 16 日(土) ・10 時～12 時 LB 理事会 @部室 2 階大会議室+W E B 併用 ハイブリッド開催

・13 時～15 時 LB シニア蹴り納め @御殿下 G ・16 時～18 時 現役との合同納会 @本郷 二食

### 2024 年

1 月 7 日(日) 予定 13 時～15 時 シニア LB 蹴り初め@農学部 G 15 時 15 分～ GSFC 総会 @部室 2 階

2 月 17 日(土) 10 時～12 時 LB 理事会 @部室 2 階大会議室+W E B 併用 ハイブリッド開催

3 月 16 日(土) 10 時～12 時 LB 社員総会 @部室 2 階大会議室+W E B 併用 ハイブリッド開催

・2024 年度活動計画と予算を決定

7 月上旬 LB 会報 No.29 号発行

8 月 双青戦@京都開催（京大創部 100 周年記念）

8 月 24 日(土) 10 時～12 時 LB 理事会 @部室 2 階大会議室+W E B 併用 ハイブリッド開催

10 月 19 日(土) 東大ホームカミングデー LB シニアの交流戦 @御殿下 G

12 月上旬 LB 会報 No.30 号発行

12 月 21 日(土) ・10 時～12 時 LB 理事会 @部室 2 階大会議室+W E B 併用 ハイブリッド開催

### 2025 年

2 月 15 日(土) 10 時～12 時 LB 理事会 @部室 2 階大会議室+W E B 併用 ハイブリッド開催

3 月 15 日(土) 10 時～12 時 LB 社員総会 @部室 2 階大会議室+W E B 併用 ハイブリッド開催

・2025 年度活動計画と予算を決定

L B 会費納入者一覧表 (H31~R5)

Table with columns: 卒年, 氏名, H31, R2, R3, R4, R5. Rows include members like 田村 三郎, 渡辺 隆二, 高崎 達也, etc.

831 747 567 862 516

Table with columns: 卒年, 氏名, H31, R2, R3, R4, R5. Rows include members like 奥園 直繁, 末永 孝彦, 末永 浩, etc.

Table with columns: 卒年, 氏名, H31, R2, R3, R4, R5. Rows include members like 水澤 雅武, 渡辺 夏, 平田 瑛, etc.

960 873 912 930 870

Table with columns: 卒年, 氏名, H31, R2, R3, R4, R5. Rows include members like 我部 有, 沖野 幸之, 榎本 充, etc.

Table with columns: 卒年, 氏名, H31, R2, R3, R4, R5. Rows include members like 谷本 篤信, 堀井 茂, 御園 慎一郎, etc.

849 741 861 963 948

Table with columns: 卒年, 氏名, H31, R2, R3, R4, R5. Rows include members like 野中 高輝, 森田 祐貴, 宮川 啓輝, etc.

Table with columns for year (H2, H3, H4, H5), name, and seat count. Includes names like 金元 舞, 金児 敦弘, 藤岡 尚, etc.

511 456 579 621 624

Table with columns for year (H15, H16, H17, H18, H19, H20, H21, H22, H23, H24), name, and seat count. Includes names like 胡内 健一, 新山 通世, 吉田 重, etc.

708 830 894 687 774

Table with columns for year (H26, H27, H28, H29, H30, H31, R2), name, and seat count. Includes names like 大島 健道, 大島 隆大, 片山 元, etc.

270 419 554 584 599

Table with columns for year (卒年), name (氏名), and seat counts (H31, R2, R3, R4, R5). Includes names like 大坪 佳夏子, 井上 雄大, etc.

0 45 114 177

注記：1月～12月納入を当該年の会費としています

- H20: 269人、3472千円
H21: 300人、3815千円
H22: 338人、4400千円
H23: 347人、4447千円
H24: 343人、4451千円
H25: 310人、3944千円
H26: 304人、3868千円 (H26.4月～12月)
H27: 311人、4159千円
H28: 278人、3562千円
H29: 318人、4454千円
H30: 318人、4113千円
H31: 304人、4141千円
R2: 303人、4138千円 (2020.12.30 現在)
R3: 319人、4439千円 (2021.12.31現在)
(対前年 + 16人 + 301千円)
R4: 341人、4,776千円 (2022.12.31.現在)
R5: 327人、4,508千円 (2023.11.24.現在)

## LB 交流戦写真集



11月3日(祝) 3大学対抗戦にて(検見川グラウンド)



9月7日、8日 藤枝草サッカー大会にて(藤枝総合運動場)



8月12日京大戦(OB前哨戦) 京大OBとの合同集合写真



10月29日 防衛大OB、北大OBとの交流戦 於:防衛大学校グラウンド